

「栄養成分表示」改定に関する最新情報と課題

— 改定案のポイントと今後の行方 —

今年7月20日、消費者庁「栄養成分表示検討会」は報告書案をまとめました。消費者の健康意識の高まりから、商品選択における栄養成分表示は重要性を増しています。国際機関や諸外国では表示義務化に向けた取組みが進み、消費者庁にはトランス脂肪酸を含む栄養成分表示の検討や整理が求められてきました。栄養成分表示をどのように捉え、食品事業者は情報提供の観点からどう向き合うべきか？ 今回は「栄養成分表示」改定に関する最新情報と課題について、同検討会の委員を務めた佐々木教授、鬼武氏に講演いただき、そのポイントと今後の行方を探ります。

日時：平成23年9月29日(木) 13時20分～16時40分(受付開始:12時50分)

会場：東京八重洲ホール・B2ホール(東京都中央区日本橋3-4-13) ※地図裏面

JR線「東京駅」八重洲中央口徒歩3分

東京メトロ銀座線「日本橋駅」・「京橋駅」徒歩3分、東西線「日本橋駅」徒歩7分 ほか

受講料：15,000円(税込み) ※食品製造・品質研究会会員は3名様まで無料

第1部：講演 [13:20～14:20]

テーマ「栄養成分と健康影響に関する考え方」

講師：東京大学大学院 社会予防疫学分野 教授 佐々木 敏 氏

- 各栄養成分と健康影響に関する考え方 —食塩・飽和脂肪酸・トランス脂肪酸を例に—
- 栄養成分表示に関する国際的動向
- 「栄養リテラシー」とは何か？

◆◆◆ 休憩(10分間) ◆◆◆

第2部：講演 [14:30～15:30]

テーマ「栄養成分表示をめぐる情報提供のあり方」

講師：日本生活協同組合連合会 組織推進本部 安全政策推進室長 鬼武一夫 氏

- 消費者が「知りたい情報」の実際 —消費者は栄養成分表示に何を期待する？—
- 栄養成分に関するお問い合わせの事例
- 栄養成分表示は、消費者の食行動(商品選択)にどのように活用できるのか
- 具体的な情報提供の方法と課題

◆◆◆ 休憩(10分間) ◆◆◆

第3部：Q & Aセッション [15:40～16:40] * 受講者からの質問・疑問を取り上げます。

コメンテーター：東京大学大学院 教授 佐々木 敏 氏

日本生活協同組合連合会 安全政策推進室長 鬼武一夫 氏

主催 日本食糧新聞社 食品製造・品質研究会

事務局担当：中山・合志(ゴウシ)・伊藤 TEL03-3432-4664 携帯090・3146・7995

セミナー情報 : <http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>

食品製造・品質研究会 9月29日 申込書

FAXで **03-3459-4654** までお申込み下さい。

平成23年 月 日

会社名	
〒 住所	
電話	FAX
部署／お役職	お名前

- ※ ご希望に○をお付けください。(請求書希望 ・ 当日現金払希望)
- ※ お申込み後、請求書と会場のご案内をお送りします。
- ※ 受講票は発行しておりません。当日はお名刺をお持ちください。

【第3部 Q&Aセッション用 質問記入欄】

栄養成分表示をめぐる質問や疑問をご自由にご記入ください。(複数歓迎)

第3部で取り上げ、講師にコメントしていただきます(質問者の会社名やお名前は明かしません)。是非ご協力ください。

【会場】東京八重洲ホール

東京都中央区日本橋3-4-13

TEL:03-3201-3631

<http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>

○JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩3分

○東京メトロ

銀座線「日本橋駅」・「京橋駅」徒歩3分

東西線「日本橋駅」より徒歩7分

ほか

